



国民の森林・国森林

森林ふれあい情報

平成26年 7月

第 31 号

中部森林管理局木曾森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

城山の希少種等の個体調査

センターの主要な活動フィールドの一つである城山国有林の「城山史跡の森」には、ヤマシャクヤク、カザグルマ、ササユリの県指定希少野生植物が自生しており、個体の増減を毎年調査しています。

希少種ではありませんが、群生が見られるカタクリの調査を5月2日に実施しました。今年の開花は昨年と同数でした。



カタクリの花

5月19日に、ヤマシャクヤクの調査を実施しました。花数は昨年を上回り、ここ数年順調に増えてきています。



ヤマシャクヤクの花

5月27日に、カザグルマの調査をしました。花数は昨年より減少しましたが、つるの本数は昨年を上回りました。



カザグルマ自生地



カザグルマの花

6月19日に、ササユリの調査を実施しました。昨年より多い株で開花が確認され、若い株も育っています。



ササユリの花

地域と木曾川下流住民との 交流事業

木曾地域は、木曾川や愛知用水等による清らかな水の供給や保健休養の場を提供するなど、下流域の名古屋圏と密接な関係にあり、いろいろな交流事業に取り組んでいます。

今年も、上流域の豊かな自然環境を将来に残そうとする目的で、名古屋市民による「平成の名古屋市民の森づくり」活動が5月17日（土）に木曾町の町有林で行われました。当日は晴天に恵まれ、汗ばむ陽気の中、参加者約200名が上木がカラマツの林にヒノキやカエデ、ヤマザクラ等の苗約700本を植樹しました。当センターも植樹等の指導や道具の貸し出しを行いました。



植樹する名古屋市民

植物観察会参加

当センターも共催している城山史跡の森倶楽部主催の植物観察会が4月29日（火）に木曾郡内の参加者26名の中実施されました。参加者は、春の芽吹き始めの森林でいろいろな植物の観察を楽しみました。

この観察会は、毎年、木曾町福島の「城山史跡の森」（福島城跡一帯の国有林、県有林、寺社有林を総称）で行われているもので、当日は、植物に詳しい県植物研究会員の講師や同倶楽部の会員の案内で約8キロの行程を植物や史跡の説明に耳を傾けながら散

策し、スマレ、リンドウ等ちょうど花が見ごろの、50種程の草本やこの地の歴史、更に遠くに見える山々の特長を熱心に学びました。



講師の説明に聞き入る参加者

史跡の森遊歩道整備・青峰高校生 より寄贈されたベンチ設置

4月13日は、城山史跡の森倶楽部による「史跡の森」遊歩道等の整備とベンチの設置作業が行われました。

この日は、総勢22人で、遊歩道に溜まった崩土さらいや地ならし等の遊歩道整備と、1月22日に木曾青峰高校3年生より同倶楽部に寄贈されたベンチを眺望の良い紅葉ヶ丘や林道終点に設置する作業を行いました。

新年度最初の作業となり、当センターからも3人が参加して倶楽部をサポートし、唐鍬を手に遊歩道の整備等に汗を流しました。



遊歩道の整備



ベンチの設置作業

森林ボランティア作業支援

◎ NPO法人「地球緑化センター」では、市民参加による森づくりを進めていくことを目的に、平成8年、上松町赤沢自然休養林に協定による「ふれあいの森」を設定して以来、毎年森林整備を実施しています。

「赤沢・樹齢300年の森林づくり」をスローガンに本年度1回目の森林整備が6月7日、8日の両日24名の参加者により実施され、樹齢約50年生の人工林ヒノキの間伐と除伐を行いました。当センターは木曽署と連携を図り、作業の手順及び安全指導(伐倒の手順、かかり木の処理の仕方など)並びに器材の貸し出しを実施しています。次回の森林整備は、9月6、7日に行われます。



ふれあいの森で間伐作業

◎ NPO法人「みどりの挑戦者」は木曽郡3町村と協定を結び、木曽川の水源地を守ろうと、町村有林の整備をしています。今年は発足から11年を迎え、5月24日に木祖村「こだまの森」において除伐作業を実施しました。



木祖村の緑の挑戦者 除伐作業

◎ 王滝村「国民の森」(昭和59年9月14日に発生した長野県西部地震の災害跡の復旧地)及び地元村有林で植樹や除・間伐等の育林作業ボランティア活動を行っている中日森友隊(愛知県阿久比町)が6月1日(日)に「国民の森」で除・間伐のボランティア作業を行いました。当箇所は、地震災害の復旧を国民を挙げて進めてきたところで、ボランティアによる作業支援も受けながら30年前から緑化事業が進められてきた場所です。逐次植えられた、ハンノキ、コナラ、カンバ、ヒノキなどの苗は大きく生育し、ハンノキは高さ8m程に成長しています。天候も良く、暑くなった当日、23名の参加者は、混み合ってきた林で、ノコギリによりカンバ、ハンノキ、灌木の除・間伐に汗を流しました。当センターは、作業手順や安全の指導などを実施しました。



中日親友隊の間伐作業

林業体験指導

◎ 長野県上松技術専門校は、木工の技術を習得する単年度修学の職業訓練校です。森林の役割と維持管理の大変さ・大切さや木曾の林業の歴史を学び、木材の有効活用を意識づけることを目的として、毎年、林業体験を行っています。

5月9日に、42名の訓練生が、熊による立木の樹皮剥ぎ被害を防止するため、ヒノキの幹にビニールテープを巻く作業と赤沢自然休養林内を散策しました。当センターでも木曾署署員と連携を図り、作業の指導と散策の案内を実施しました。



訓練生によるテープ巻作業

◎ 愛知県犬山市の犬山中学校は、木曾川の上流である木曾地域において、木曾の自然や文化を学ぶ木曾総合学習を毎年行っています。

5月13日に2年生の233人が、①遊歩道への木製チップ撒き、②記念植樹、③熊よけのテープ巻の3つのグループに分かれそれぞれ作業しました。

14日は3～6人の班に分かれ、企業や施設等において様々な体験をする日で、木曾署には4人の生徒が訪れ、枝打ちや除伐等を体験しました。当センターでも2日間の作業の指導を行いました。



除伐作業をする生徒

◎ 木曾町に所在する木曾青峰高校1年生196名(教職員19名含む)は、5月30日、森林・林業への理解を深めるために、赤沢自然休養の散策及びヒノキチップ舗装作業を木曾森林管理署、NPO法人木曾ひのきの森の指導のもと体験しました。

当センターも両者と連携し、散策及びチップ舗装の手順などの指導を行いました。



ヒノキチップ舗装作業する青峰高校生

新しいメンバーを紹介します



岩本道彦 上席自然再生指導官

「このたび、4月1日付けで木曾森林ふれあい推進センター所長を命ぜられました。よろしくお願いいたします」



今後の主な予定

- 木曾町との林政懇談会 7/10(木)
- 教職員林業体験学習会 8/7(木)
- 愛知県阿久比高校ボランティア支援8/8(金)
- 木曾駒ヶ岳植生復元ボランティア作業9/11
- 木曾駒ヶ岳植生復元10周年記念講演会9/26

